

先月のプレイデイでは、子ども達を真ん中にして 大勢の皆様方と共に 神様の豊かな恵みの中で 笑顔いっぱいの 心温まる時を 楽しむことが 出来ました。心より 感謝申し上げます。特に各クラスの 役員の方々を始め、保護者の皆様には 朝早くから様々な面で御協力を頂きまして、ありがとうございました。

さて、来月には「感謝祭」を 予定しております。すでに、掲示で お知らせしております通り、今年は 金曜日に全園児が中心とした感謝祭礼拝を行うことで 変更させて頂きました。毎年の保護者の皆様と 近隣の方々とを交えての 調理と会食のスタイルを楽しみにされていた方々には 大変 申し訳ありませんが、どうぞ御了解の程、よろしくお願い致します。先月末の職員会議で、感謝祭について話し合いの時を持ちました。それぞれの担任から現状が伝えられた後、子ども達と分かち合うために具体的にどんな経験をしていきたいかを真剣に考え合いました。そんな中で思わされたのが『感謝』ということの本来の意味です。今の子ども達、いいえ 自分達が、日々の生活を振り返った時、いつも感謝を感じているだろうか？

「ありがとう」を どんな時に どんな相手に 思っているだろうか・・・
何よりも 今 この瞬間、自分が 生かされているということを 深く 考えたことがあるのだろうか？と思わされました。そして「すべては与えられている」からこそ自分は 生きることができているという 存在の本質について 皆で想い合いました。命・時間・空気や 自然の営みや 環境は すべて 私達人間が 自由に操作できないものであることは 充分 わかっている。でも それを よくよく 掘り下げて 考えていくと、食べ物や飲み物も 元々 命として生まれたものであり、それらを育てたり加工したりする知恵や能力は 与えられたもの。家族や友達や先生という人との出会いや関係も、学業や仕事やお金も、それらを得るために努力する心や発明する力、判断する意思など、それらも私達に供えてもらっているもの。人を含め、この世に生きとし生けるもの皆、与えてもらわなければ生かされない存在、あって当たり前なものなどどこにもない。今在る自身も周りの何もかも、すべては神様の恵みと憐れみ、神様の御旨によるものであることに気付かされます。そのことを私達自身が まずじっくり己れの心に向き合い しみじみと感ずることなのだと思います。そういう想いで過しているおとな達の中に生きる子どもには、きっと自然に謙遜で優しい「ありがとう」の想いが 育まれるでしょう。

今年は そんな感謝祭を迎えたいと思います。目に見えるものよりも それらを手にするまでの様々なプロセス、そして それらすべてを守られ 与えてくださっているすべての源である天地創造の主、神様へまなざしを向け、想いを馳せたいと願っています。そして 恵みを受けているからこそ その喜びを互いに分かち合い、想いを与え合う生き方が出来る つのぶえでの生活を大切にしていきたいと思っています。つのぶえに出会い、同じ時を共に生きる仲間に出会い、心を通わせ合い、共に笑い共に泣き、信じ 赦し 愛し 祈り合う日々を与えられていることは決して当たり前ではありません。すべては 神様に愛され、今を生かされている存在同士だからです。今年は そんな喜びを1人の人として子どももおとなも 皆がしみじみ感じ合える「神様を想い、心を注ぎ合う」感謝祭を過ごしたいと願い、各クラス、お互いがお互いのため想い合って準備して 当日を迎えたいと思います。

今 自分が在るのは 神様が この出会いを 与えてくださったから・・・！
私達おとなも その感謝を込めて 子ども達へ「いつも ありがとう！」と 思いきりささげる時にしたいと 楽しみにしています。世界中の すべての人の心神様の愛が注がれ 笑顔と平和と感謝に満たされる時が訪れますよう 祈りつつ・・・(石田 記)
「受けるより 与える方が 幸いである(使徒の働き 20:35)」